

「第18回国際遠隔医療学会の開催ご報告と今後の国際協力への展望」 ーラオスにおける妊産婦の健康管理プロジェクトー

ISfTeH

JTTA Annual Conference "JTTA2013 Takamatsu"

18th ISfTeH International Conference

[Home](#)[Greeting](#)[Outline](#)[Registration](#)[Abstract](#)[Schedule\(Important dates\)](#)[Access](#)[Accommodation](#)

The Construction of an International Collaboration with Telemedicine

October. 17 (Thursday) to 20

Sunport Hall Takamatsu

Sunport 2-1, Takamatsu-shi, Kagawa

香川大学瀬戸内圏研究センター 特任教授
徳島文理大学理工学部教授
日本遠隔医療学会会長
原 量宏

日時：平成26年2月7日（金）

高松合同庁舎 アイホール

[Information](#)[Contact to](#)

JTTA 2013 TAKAMATSU 大会スケジュール

一日目 10月18日(金)	時間	国内第一会場 (第1小ホール)	国内第二会場 (第2小ホール)	国際第一会場 (かがわ国際会議場) 国際第二会場 (54会議室) 国際第三会場 (eとびあ5階)	企業展示 会場 (61会議室)	
	9:00	合同開会式				
	9:30	【合同基調講演】(英語)				
	10:00	1. ISfTeH 副会長 Steven Normandin		18th ISfTeH	企 業 展 示	
	10:30	2. 日本遠隔医療学会会長 原 豊宏		シン ポジ ウム		
	11:00	3. 東京医科歯科大学 田中 博		一 般 演 題		
	11:30	4. 東北大学 清元 秀泰				
	12:00	5. Intel Corp Dr.Mark Bratt				
	12:30					
	13:00	ランチョンセミナー				
	13:30			18th ISfTeH	企 業 展 示	
	14:00	特別講演 クラウド時代のヘルスケア イノベーションの展開 板生 清	見守り分科会	シ ン ポ ジ ウム 一 般 演 題		
	14:30					
	15:00	コーヒーブレイク				
	15:30					
16:00	e-health 分科会 厚生労働科学研究報告会	一般演題 地域医療連携 (1)	18th ISfTeH シ ン ポ ジ ウム 一 般 演 題	企 業 展 示		
16:30		一般演題 病院情報システムの発展				
17:00		在宅医療支援分科会				
17:30	一般演題 在宅医療支援と評価	一般演題 新しい技術の活用	一 般 演 題		19:00 ~ 懇親会	
18:00						
18:30						
大ホール 16:00 ~ 18:30	市民 公開 講座	〈第一部〉 地域医療情報連携による市民サービス ・「地域で連携する医療」から「生涯にわたる健康電子記録 (EHR)」へ 田中 博 東京医科歯科大学 ・オープニングをはじめとするかがわ医療福祉総合特区の取り組み 香川県健康福祉部		〈第二部〉 フルートコンサート 上野 由恵		

二日目 10月19日(土)	時間	国内第一会場 (第1小ホール)	国内第二会場 (第2小ホール)	国際第一会場 (かがわ国際会議場) 国際第二会場 (54会議室) 国際第三会場 (eとびあ5階)	企業展示 会場 (61会議室)
	9:00		一般演題		
	9:30	特別講演 在宅医から見た遠隔医療	インフルエンザの監視		
	10:00	コーヒーブレイク		18th ISfTeH	企 業 展 示
	10:30	共同企画シンポジウム 循環器疾患の遠隔医療 日本循環器学会・ 日本遠隔医療学会	一般演題 見守りとモニタリング	シ ン ポ ジ ウム 一 般 演 題	
	11:00				
	11:30				
	12:00				
	12:30	ランチョンセミナー			
	13:00			18th ISfTeH	企 業 展 示
	13:30	特別講演 医療情報とID政策について ~EHRの実現に向けて~ 厚生労働省 中安 一幸		シ ン ポ ジ ウム 一 般 演 題	
	14:00				
	14:30	一般演題 周産期医療とICT			
	15:00	コーヒーブレイク			
	15:30			18th ISfTeH	企 業 展 示
16:00	一般演題 地域医療連携 (2)		シ ン ポ ジ ウム 一 般 演 題		
16:30					
17:00					
17:30	閉会式				

October 1, 2013

Participants are from 22 countries.

Australia



Bangladesh



Belgium



Lithuania



Mexico



Nigeria



Brazil



Canada



China



Portugal



Russia



South Africa



Colombia



Czech Republic



France



Taiwan



Thailand



USA



India



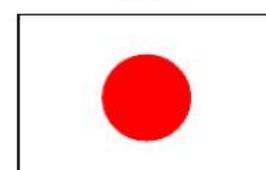
Indonesia



Republic of Korea



Japan





ASEAN ICT Symposium of Medical Use in Japan

Table 1 Participants from Asean country

Oct.15 2013 BHN Association

NO	Flag	Country	Participant	Professional affiliation
1		Brunei	Mr Poh Seng Chong / ポー セン ショウ	M Senior System Analyst, Ministry of Health
2			Mr Abidin bin Haji Othman/ アビディン ビン ハジオスマン	M Ministry of Health
3		Cambodia	Mr. Kim Sanang/ キム サンアング	M Core network engineer, Dept. technologies, Ministry of Health
4			Mr. Hing Lyhay/ ヒン リーヘイ	M Ministry of Posts Telecommunication (Director of Telecom Policy)
5		Indonesia	Dr. Agung Budi Sutiono/ アグン ブディ ステイオーノ	M Professor,Department of Neurosurgery, Hasen Sadikin Hospital, Bandung
6			Mr. Hadi Hariyanto/ ハディ ハリヤント	M Manager, R&D Center, Telkom Indonesia
7		Laos	Mr. Ariya Mingbougha/ アリヤ ミンボウア	M Ministry of Health (Technical staff of IT Division of the Cabinet)
8			Mrs. Chittaphone Chansyilath/ チットフォン チャンシリャウ女史	F Ministry of Posts Telecommunication (e-Government Center)
9		Malaysia	Ms. Malini Ramalingam/ マリニ ラマリナガム女史	F Malaysian Communication and Multimedia Commission (CMCM)
10			Dr. Amiruddin Hisan/ アミルディン ヒーサン	M Ministry of Health, Telehealth Division 部長
11		Phillipines	Mr. Roy R. Consulta/ コンサルタ	M ICT Specialist, Information & Communications Technology Office (ICTO) Department of Science and Technology (DOST)
12			Dr.James A. SALISI, MD/ ジェームス サリシ	M National telehealth center, Project Leader of CHITS-2 Project &real-time monitoring of key maternal and child health (MCH)
13		Thailand	Dr. Watchai Charunwatthana/ ワーチャイ チャルワツタ	M Ministry of Public Health, Medical Officer
14			Ms. Jaruvan Monthiraj/ ジャルワン モンシリャウ女史	F Ministry of Information and Communication Technology Computer Technical Officer
15		Vietnam	Mr. Nguyen Dinh Anh/ ヌーエン ティン アン	M Ministry of Health, Department of Communications, Remuneration and Rewards, 部長代理
16			Mr. Ta Quang Nghia/ タ クワング ニーア	M Ministry of Information and Communications, Authority of IT, 部長代理
特別GUEST				
17		Thailand	Dr. Boonchai Kijsanayotin MD, PhD/ブンチャイ キヤナヨティン	M Thai Health Information Standard Development Center センター長 Health System Reserch Affiliate
18			Professor Dr. Supasit Pannarunthai/スパスット パナルンサイ	M Dean of Faculty of Medicine, Narusuan of University 教授
19		Malaysia	Dr. Lee Seldon/ リー セルドン	M Malaysia Multimedia University Melaka MMU大学 教授

インドネシアテレコム特別参加

ルーラル地域医療のための電子母子手帳開発プロジェクトのメンバー

		参加者	所属
20	インドネシア	Mr. Samudra Prasetyo /サムドラ プラセチオ (Project Manager)	M PT Telekomunikasi Indonesia, Research and Development Center
21		Mr. Sony Ari Yuniarto /ソニー アリ ユニート Application Coordinator (DigMAPS)	M PT Telekomunikasi Indonesia, Research and Development Center
22		Mr. Andri Gianto /アドリ キヤントリ Informatics Researcher (DigMAPS Socio)	M PT Telekomunikasi Indonesia, IT Solution and Strategic Portofolio
23		Mr. Yudi Trijayadi /ユディ チュリジャヤディ (DigMAPS Communication Researcher)	M PT Telekomunikasi Indonesia, Research and Development Center
24		Ms Winda Winanti /ウインドウ ウィナンティ 女史 (DigMAPS User Interface Designer)	F PT Telekomunikasi Indonesia, Research and Development Center

合同開式

Opening Ceremony



Conference Hall

東北大学医学部より3Dナビゲーション映像Live中継



3D
メガネ有

遠隔ナビゲーションシステム構築
（ナビゲーションモニタリング用）

ナビゲーション
システム

市民公開講座

テーマ 地域医療情報連携による市民サービス

基調講演 1
「地域で連携する医療」から
「生涯にわたる健康電子記録(EHR)」へ
東京医科歯科大学 難治疾患研究所 地域医療福祉情報連携協議会
田中 博 教授

基調講演 2
「オーブンナースをはじめとする
かがわ医療福祉総合特区」

香川県健康福祉部医務国保課
井下秀樹課長補佐

入場料無料

日時
2013年10月18日(金)

15:00～ 開 場
15:30～ 第Ⅰ部 基調講演 1
16:00～ 第Ⅰ部 基調講演 2
16:45～ 休憩
17:00～ 第Ⅱ部 上野由恵フルートコンサート
18:30～ 閉 場

会場
サンポートホール高松 3F 大ホール
お問い合わせ：香川大学瀬戸内圏研究センター(担当：青木)
TEL：087-887-4967 FAX：087-887-4967

参考：EHR関連の取組
医療分野におけるICT(情報通信技術)利活用に向けた取組の一つとして、総務省は、平成23年度及び平成24年度に「健康情報活用基盤構築事業」(日本版EHR)を実施し、地域が保有する医療健康情報を安全かつ円滑に流通させるための広域共同利用型のEHRシステムの確立・普及に向けた実証事業を行いました。四国では、香川県において「地方情報の電子化・医療連携を実現するための情報連携活用基盤構築」事業を実施し、現在は、本事業の成果を、香川県が計画中の「香川県医療情報ネットワーク(仮称)」に活用する方向で検討がなされています。

第Ⅰ部 基調講演

テーマ
地域医療情報連携による市民サービス

基調講演 1
「地域で連携する医療」から
「生涯にわたる健康電子記録(EHR)」へ
東京医科歯科大学 難治疾患研究所 地域医療福祉情報連携協議会
田中 博 教授

基調講演 2
「オーブンナースをはじめとする
かがわ医療福祉総合特区」

香川県健康福祉部医務国保課
井下秀樹 課長補佐

第Ⅱ部 上野由恵フルートコンサート

ホールベスト：望郷のパラード
パルトーク：ハンガリー農民組曲より
山田耕伴：赤とんぼ、中国地方の子守唄
ドップラー：ハンガリー田園幻想曲ほか

第Ⅰ部 基調講演 (講演概要)

東京医科歯科大学 難治疾患研究所
地域医療福祉情報連携協議会
田中 博 教授

- ＜所属＞
東京医科歯科大学大学院 歯学総合科学研究科システム情報医学専攻
医学博士、工学博士
＜学歴＞
1981年 東京大学医学部歯学部歯学専攻 医学博士
1982年 東京大学工学部 工学博士
1983年 東京大学工学部大学院 工学博士
1988年 スカウツクアフラシオンセンター大学医療科学部
1979年 高松医科大学 医学部医学科 臨床医 臨床医 臨床医
1980年 高松マツクスウエック工科大学 医務科 医務員
1981年 東京医科歯科大学 難治疾患研究所 生命情報学 教授
1995年 東京医科歯科大学 情報医科学センター センター長 特任
2002年 東京医科歯科大学大学院 歯学総合科学研究科 教授
2005年 東京医科歯科大学大学院
2011年 高松市立総合医療センター 大学学術員
2011年 高松市立総合医療センター 大学学術員
2011年 高松市立総合医療センター 大学学術員

医療の情報(IT)化とは、患者の診療記録を電子化(デジタル)して、診療の質を向上させることです。これまでは具体的に「電子カルテ」として、受診病院での診療の情報基盤となってきました。これは、我が国の医療が1961年の国民皆保険の導入以来、単独の病院での治療/健康回復を基本とする「病院完結型医療」の「新連携構築」であったからです。この体制で我が国の医療が国民の健康を守るという責任を果たせたのは、我が国の経済が高度成長期にあり、また「若い人中心の国」であったことによります。



しかし、1991年にバブルが崩壊し、また同時に高齢化率も急上昇し、我が国は「超低成長・超高齢化社会」に突入しました。2000年代の中頃に入ってから、医療費の激増を抑え、戦中戦後育成医師の世代的退職や新研修医制度の導入による医師不足、超高齢化による慢性疾患の急増など、地方の自治体病院の閉院・休院が続く「地域医療の崩壊」ということが叫ばれるようになりました。このような状況を立て直し、医療を再生するために進められたのが、希少な医療資源である地域の病院・診療所が連携して患者の診療を受け持つ体制、すなわち「地域連携型医療」です。医療ITは、地域医療連携において、患者の診療情報を地域で共有する情報ネットワークなど情報基盤として不可欠な役割を果たしています。ここ香川でも「かがわ遠隔医療ネットワーク(K-MIX)」が、震災のあった東北でも「みやぎ医療福祉情報ネットワーク(MMWIN)」が驚異的にいます。

最近ではより狭い圏域(日常生活圏域・中学校区に相当)、住診医や訪問看護・介護などの多職種連携を通じた、地域包括ケアが目指され、医療ITも、ワイレス通信で中央のコンピュータとつながったタブレット型PCの利用、すなわちモバイルクラウド情報基盤を提供しています。これからの医療ITの目標は何でしょうか。それは、これらの地域医療連携や地域包括ケアの情報基盤を統合して、国民一人ひとりの生涯にわたる電子化健康医療記録、すなわち国際的にElectronic Health Record(EHR)と呼ばれる全国的な健康医療情報基盤を実現することです。このことにより、国民が自らの健康医療状態について認識を得て、慢性疾患重症化・要介護状態への移行を防ぐ、生涯の健康リスク管理を実現することが可能になります。

香川県健康福祉部医務国保課
井下秀樹 課長補佐

香川県は全国に先駆けて医療の情報化に取り組みしており、平成15年には、全県的医療ネットワークである「かがわ遠隔医療ネットワーク K-MIX」がスタートしています。K-MIXの運用開始以降、産学官連携体制のもと、ドクターコムや地域連携クリティカルパスの電子化、電子処方箋システムの構築など、先駆的な取り組みが数多くあり、K-MIXには、現在、県内外あわせて119の医療機関が参加しています。

香川県は、これまで蓄積してきた地域資源を活用して、医療のICT化をさらに推進するとともに、離島へき地の医療・福祉の確保や環境改善、さらには県内全域の医療水準の向上を目標として、平成23年「かがわ医療福祉総合特区」の地域指定を受けました。かがわ医療福祉総合特区は、「遠隔医療・医療連携」「くすり医療連携」「救急・災害医療」「福祉」の4分野からなり、医師の遠隔指導によってスキルアップされた看護師(オーブンナース)が行う在宅医療の推進や、遠隔での医療指導を利用した患者宅での薬の交付など、国や各事業者との協議を行いながら、事業を進めているところです。

これらの医療・福祉分野における新しい取組みは、島しょ部へき地に限らず、今後、さらなる高齢社会へと向かうことが想定される我が国において、全国的な課題となっている人口減少・少子高齢化を克服する医療福祉のモデルとなることを目指しています。

全県でも珍しい全県レベルで一体となった医療ICTを活用した香川県独自の取り組みの全体像と現状、今後の展望を紹介いたします。

共催 香川大学、総務省四国総合通信局、四国情報通信懇話会ICT研究交流フォーラム、
後援 香川県、高松市、経済産業省四国経済産業局、日本産婦人科医会、香川県医師会、香川県歯科医師会、香川県薬剤師会、香川県看護協会、徳島文理大学、四国旅客鉄道、NPO法人BHNテレコム支援協議会、NPO法人e-HCIC、四国新聞社、宮脇書店、ヤマハミュージックリテイリング高松店、HCIF

会場案内

所在地 〒760-0018 高松市サンポート2-1
高松シンボルタワーホール2階2期
会場お問い合わせ TEL:087-825-5000(平日9:00～17:30)
FAX:087-825-5040

交通のご案内

- JR高松駅から徒歩3分
- ことでん高松港港駅から徒歩5分
- 高松港から徒歩2分
- 高松自動車道高松中央ICから国道193号経由で約20分
- 高松空港からことでん空港バス(高松)から約40分



サンポートホール高松 GoogleMap

18th IS4TeH International Conference
第17回日本遠隔医療学会学術大会 JTA 2013 in 高松

市民公開講座 第Ⅱ部

高松出身 注目のフルート奏者が奏でる「故郷」への想い

上野由恵
フルートコンサート

2013年10月18日(金) 17:00 開演 16:50 までに
ご入場ください

New Album「東欧の歌」発売記念
終演後サイン会を予定しております。

プログラム
ホルムバスク：空郷のパラード
フルートク：ハンガリー農民組曲より
山田耕作：赤とんぼ、中国地方の子守唄
ドブラー：ハンガリー田園幻想曲ほか

会場 サポートホール高松 3F 大ホール
お問い合わせ：香川大学瀬戸内圏研究センター(担当：南本)
TEL：087-887-4967 FAX：087-887-4967

ピアノ 石橋尚子
入場無料
どなたでもご入場いただけます

市民公開講座第Ⅰ部 基調講演もご参加ください。

スケジュール
15:00～ 開場
15:30～ 第Ⅰ部 基調講演
16:45～ 休憩(第Ⅱ部にご来場の方は16:50までにご入場ください)
17:00～ 第Ⅱ部 上野由恵フルートコンサート
18:00～ 上野由恵サイン会 [CD発売記念]
18:30～ 閉場

第Ⅱ部 上野由恵 フルートコンサート



フルート 上野由恵
共演:ピアノ 石橋尚子

プロフィール

香川県高松市出身。東京芸術大学音楽学部附属音楽高校を経て、同大学をアカンサス音楽賞を得て首席卒業。同大学大学院修士課程修了。

第76回日本音楽コンクール第1位、岩谷賞(聴衆賞)、加藤賞、吉田賞、Eナカミチ賞、第2回東京音楽コンクール第1位、第15回日本木管コンクール第1位、コスモス賞(聴衆賞)、兵庫県知事賞、朝日新聞社賞、第1回北京ニコロ国際フルートコンクールセミファイナリスト、第1回香川県文化芸術新人賞受賞。

これまでに、読売日響、都響、新日本フィル、東響、東京フィル、関西フィル、京響、セントラル愛知響、芸大フィル、瀬戸フィル、チェコフィル室内管、チェコフィル六重奏団、ベルリンフィル首席奏者によるアマルコルドカルテット・ベルリン等とソリストとして共演。

2005年皇居内桃華楽堂にて御前演奏。2006年韓国トンヨン国際音楽祭(イサンコンフェスティバル)より招かれ演奏。2008年首相官邸での日中首脳会談晩餐会で演奏。各地でのソロリサイタルの他、「NHK-FM名曲リサイタル」、「N響広場」、「気ままにクラシック」等、多数のラジオやテレビ番組に出演。2009年から「世界の子ども支援」チャリティー事業にも積極的に参加し、全国でのコンサートツアーを行っている。2011年オクタヴィアレコードよりデビューCDを2枚同時リリース。2013年9月に3枚目のCDをリリース予定。現在、ムラマツレッスンセンター、洗足学園音楽大学講師を務める。

第Ⅰ部 基調講演

東京医科歯科大学大学院 生命情報科学教育部教育部長
田中 博教授
テーマ
地域医療情報連携による市民サービス
「地域で連携する医療」から
「生涯にわたる健康電子記録(EHR)」へ
東京医科歯科大学大学院生命情報科学教育部教育部長
田中 博教授
オリープナースをはじめとする
かがわ医療福祉総合特区
香川県健康福祉部医務国保課
井下秀樹 課長補佐

講師プロフィール
東京医科歯科大学大学院 生命情報科学教育部教育部長
田中 博教授
略歴
1982年 東京大学 医学部 講師
1982年-1982年 スウェーデン・ウプサラリソノーベグ大学医学部研究員
1987年 香川医科大学 医学部附属病院 医療情報科 助教授
1990年 香川マツウラーセック工科大学 教員研究員
1994年 東京医科歯科大学 医学部附属研究科 生命情報学 教授
1995年 東京医科歯科大学 情報科学センター センター長 兼任
2003年- 東京医科歯科大学 大学院 健康生体科学研究科 教授
2003年-2007年 日本医療情報学会 理事長 兼 会長
2006年-2010年 東京医科歯科大学大学院 生命情報科学教育部教育部長 大学院講師 兼任
オリープナースをはじめとするかがわ医療福祉総合特区概要
香川が抱えている課題・ニーズに迅速に対応できる「オリープナース」とは、香川県で唯一の先進医療特区の創設により、従来の診療科では診療が困難な患者の診療をするために、その診療科目に基づいて医師の診療をめぐむことが、これは香川県にとって最大の特色となりました。香川県の新たな発展として、期待されているオリープナースの特区に、地域の人々に見られる存在になって欲しい、そんな思いを込められているオリープナース。

共催 香川大学
後援 香川県、高松市、経済産業省四国経済産業局、日本産婦人科医会、香川県医師会、香川県歯科医師会、香川県薬剤師会、香川県看護協会、徳島文理大学、四国旅客鉄道、NPO法人BHN、NPO法人e-HCIK、四国新聞社、宮崎書店、ヤマハミュージックリテイリング高松店、HCIF

会場案内
所在地 〒760-0019 高松市サポート2-1
高松シンガポールタワービル棟2階
会場お問い合わせ TEL:087-825-5000(平日9:00~17:30)
FAX:087-825-5040
交通のご案内
●JR高松駅から徒歩3分
●こどもん高松公園から徒歩5分
●高松駅から徒歩2分
●高松自動車道高松中央ICから国道193号経由で約20分
●高松空港からこどもん高松公園JCTより高松駅行約40分



本年10月のパリでの国際遠隔医療学会のWebサイト

<http://www.carrefourtelesante.fr/>

Carrefour de la Télésanté
Modèles, organisations, méthodologies de la télésanté pour intégrer la chaîne des acteurs grâce à l'innovation participative.

Accueil | Conférences | Services + | Partenaires | Presse | Pratique | Inscription | Archives

[l'événement !](#)

Bienvenue sur le site officiel du CARREFOUR DE LA TELESANTE

Cette 4ème édition s'est déroulée le mercredi 23 octobre à la Maison de la Chimie et le jeudi 24 octobre à l'Assemblée Nationale.

Cette journée a été dédiée aux :
Modèles, organisations, méthodologies de la télésanté pour intégrer la chaîne des acteurs grâce à l'innovation participative.

[Le compte-rendu de l'événement est disponible : Consultez le !](#)

[Téléchargez le compte-rendu complet du Carrefour de la Télésanté !](#)
(84 pages comprenant : allocutions officielles, photos, statistiques, présentation des partenaires et co-organisateur, revue de presse, actes.)

ORGANISATEUR : **Catel**

PARTENAIRES :

- Alere
- FileMed
- REUNICA
- orange
- 50 YEARS
- BIOTRONIK
- Medtronic
- H4D | HEALTH FOR DEVELOPMENT
- accenture
- Boston Scientific
- IIDRE
- e-sens
- Cloudwatt
- AlyCom
- PULS@CFRE

Notez dès maintenant dans vos agendas :

19ème Conférence Internationale de l'ISfTeH / 5ème édition du Carrefour de la Télésanté
les mercredi 15 et jeudi 16 octobre 2014

19th ISfTeH International Conference
5th Carrefour de la Télésanté

« For a worldwide telemedicine »

- Expert conferences and demonstrations
- 500 multidisciplinary actors
- Targeted meetings
- Exhibition

- Attend the event
- Enhance your skills and become a partner
- Enjoy targeted meetings according to your needs

- Which e-health success stories worldwide?
- How much is telemedicine efficient, according to evaluating countries?
- E-health between developing and developed countries
- Which legislation and regulation are adopted?
- Which methodology to support e-health projects?
- New tools and services for e-health: which contributions to economic development in investing nations?
- which international cooperations are already supported by telemedicine?

Paris
October 16 & 17th, 2014

Save the dates !

Catel
VERS DES TECHNOLOGIES QUI NOUS RAPPROCHENT

Website 2013 edition: www.carrefourtelesante.fr
contact@catel.pro / +33 (0)2 97 68 14 03

ISfTeH International Society for Telemedicine & e-Health

Contact : CATEL - Tel : +33.(0)2.97.68.14.03 / Fax : +33.(0)2.97.68.29.56 / catel@telemedecine.org / www.catel.pro





Sponsor/Exhibitor

Visitor

Educational
ProgramHotel
TravelPress
Center

Partners

Proceedings

Knowledge
Resources

Home:

Welcome

Med@Tel

THE INTERNATIONAL eHEALTH, TELEMEDICINE AND HEALTH ICT FORUM For Education, Networking and Business

Med-e-Tel is an event of the International Society for Telemedicine & eHealth (ISfTeH), THE international federation of national associations who represent their country's Telemedicine and eHealth stakeholders.



The ISfTeH exists to facilitate the international dissemination of knowledge and experience in Telemedicine and eHealth, to provide access to recognized experts in the field worldwide, and to offer unprecedented networking opportunities. Med-e-Tel is one of the instruments that help the ISfTeH to realize this mission.

eHealth, Telemedicine and Health ICT are a tool at the service of medical and nurse practitioners, patients, citizens, healthcare institutions and governments. It involves many different stakeholders who need to be brought face-to-face to share aspirations, learn from research and experiences, show the possibilities, understand the market, discover new applications. Med-e-Tel is the meeting place with a proven potential for **Education, Networking and Business** among a global audience with diverse professional backgrounds.

EDUCATION

Attend the vast conference program featuring over 150 presentations and workshops, and learn from experience built up by experts from around the world. Hear about current applications and best practice examples, see a glimpse of future trends in Telemedicine and eHealth, and their effect on the healthcare system as a whole. Get an update on new developments that will allow you to stay ahead and make more effective and efficient use of technologies to improve quality of health, medical and social care.

NETWORKING

Med-e-Tel promotes and enhances cooperation opportunities, and is the place to establish partnerships and contacts, both globally and locally. Meet and network with healthcare and industry stakeholders, use the dedicated meeting areas and events at Med-e-Tel to exchange ideas. Attend meetings from a number of international and regional associations, and expand your network.

BUSINESS

Meet with industry representatives and see the solutions and technology at work in the expo and networking area. Participate in demonstrations that will give you a better view on the potential behind Telemedicine and eHealth tools.



REGISTER

Latest News:

Register for Med-e-Tel 2014 at early bird rates: 3 days of information packed sessions and worldwide networking opportunities

Book your hotel rooms for Med-e-Tel 2014 at special rates negotiated by the Luxembourg Convention Bureau

Air France / KLM offer discounts for airtravel to Med-e-Tel 2014

Med-e-Tel 2014 Call for Abstracts: submit your presentation proposals

Med-e-Tel 2014 sponsorship opportunities

Access all presentations from Med-e-Tel 2013

Med-e-Tel "Knowledge Resources": browse all presentations from 2002 till 2013 (open access)

Become a member of the International Society for Telemedicine & eHealth

Preliminary list of Med-e-Tel 2014 Sponsors/Exhibitors:

A Advanced
Medical
Solutions

AGENCE
eSanté
LUXEMBOURG

BALTICRAD
PROFESSIONAL TELERADIOLOGY SERVICES



cn connecting
nurses

CONTEC

**THE CZECH
TECHNICAL
UNIVERSITY
IN PRAGUE**

Med-e-Tel focuses on ehealth and telemedicine applications and a wide range of other medical ICT applications and on the convergence of information and communication technology with medical applications, which lead to higher quality of care, cost reductions, workflow efficiency, and widespread availability of healthcare services.

The "Med" in Med-e-Tel stands for healthcare services (institutional and home based care, prevention and education) and for medical products and equipment (medical imaging equipment, monitoring devices, electronic health records, etc.). The "e" stands for the electronic and IT industry and services (hard- & software, internet, etc.).

The "Tel" stands for telecommunications (whether it is POTS, mobile, satellite, videoconferencing, VoIP, or other).

The **services and applications** presented at Med-e-Tel include:

- computer hard/software and peripherals
- consulting services
- diagnostic/monitoring systems and devices
- electronic health cards
- electronic medical records and personal health records
- home and personal monitoring services and equipment
- hospital information systems
- imaging devices and systems
- internet/intranet services
- mobile/wireless devices and applications
- satellite communication
- secure data transmission
- surgical systems
- systems integration
- telecommunication services and devices
- telecare/telehealth/telemedicine equipment and assistive technologies
- videoconferencing
- vital signs monitoring

In a professional and business-minded environment, Med-e-Tel brings manufacturers and suppliers together with a qualified and international audience of healthcare service providers and other **key contacts** such as:

- association executives
- consultants
- distributors and agents
- educators and researchers
- funding agencies
- government representatives
- health insurance providers, multilaterals
- homecare service organizations
- hospital management and department heads
- international authorities
- medical specialists and general practitioners
- nurses
- venture capitalists, investors

for the purpose of establishing new contacts and developing existing relationships.

The event also features many **educational opportunities** through its extensive program of presentations, panel discussions and satellite conferences on topics such as:

- bio-informatics
- broadband and wireless networks
- business models
- cost-benefit studies
- current ehealth realizations and projects
- developing countries and ehealth
- distance education
- ehealth integration into routine medical practice
- electronic medical records
- home monitoring and homecare applications
- legal and ethical aspects
- reimbursement issues
- satellites and ehealth
- standardization and interconnectivity
- telemedicine applications and projects

The event is **supported** by a wide range of national and international associations, institutions and media who are equally involved in the research, development or funding of health and telemedicine initiatives. **Click here** for a list of supporting organizations and media partners.

Med-e-Tel 2014 Flyer

eMedic

Developing New Practices for Teleconsultation and Diagnostics

GlobalMed
Telemedicine™

UNIVERSITY OF SOUTHAMPTON
HOSPITAL DISTRICT OF SOUTH WEST ENGLAND

IGB
ADVANCED TECHNOLOGY

ISfTeH
International Society for
Telemedicine & eHealth

BY
KAROLINSKA
University Hospital

MEDGATE

Medweb

NONIN

orange

Ortho Baltic

**PAULS STRADINS
CLINICAL UNIVERSITY HOSPITAL**

Recap

SANOFI

TALLINN UNIVERSITY OF
TECHNOLOGY

**SCIENCE
TURKUI
PARK**

**TURUN AMMATTIKORKEAKOULU
TURKU UNIVERSITY OF APPLIED SCIENCES**

本年10月のパリでの国際遠隔医療学会のWebサイト

<http://www.carrefourtelesante.fr/>

RDV
Conférences
Télésanté
Modèles, organisations, méthodologies de la télésanté pour intégrer la chaîne des acteurs grâce à l'innovation participative.

Accueil Conférences Services + Partenaires Presse Pratique Inscription Archives

[l'événement !](#)

Bienvenue sur le site officiel du CARREFOUR DE LA TELESANTE

Cette 4ème édition s'est déroulée le mercredi 23 octobre à la Maison de la Chimie et le jeudi 24 octobre à l'Assemblée Nationale.

Cette journée a été dédiée aux :
Modèles, organisations, méthodologies de la télésanté pour intégrer la chaîne des acteurs grâce à l'innovation participative.

[Le compte-rendu de l'événement est disponible : Consultez le !](#)

[Téléchargez le compte-rendu complet du Carrefour de la Télésanté !](#)
(84 pages comprenant : allocutions officielles, photos, statistiques, présentation des partenaires et co-organisateur, revue de presse, actes.)

ORGANISATEUR :
Catel
VERS DES TECHNOLOGIES QUI NOUS RAPPROCHENT

PARTENAIRES :

Alere
FileMed
RÉUNICA
orange
50
BIOTRONIK
excellence for life
Medtronic
H4D HEALTH FOR DEVELOPMENT
accenture
Boston Scientific
Advancing science for life™
IIDRE
automate
e-sens
Le plein d'e-dées
Cloudwatt
AlyCom
La médecine assurée
PULS@CFRE

Notez dès maintenant dans vos agendas :

19ème Conférence Internationale de l'ISfTeH / 5ème édition du Carrefour de la Télésanté
les mercredi 15 et jeudi 16 octobre 2014

19th ISfTeH International Conference
5th Carrefour de la Télésanté

« For a worldwide telemedicine »

- Expert conferences and demonstrations
- 500 multidisciplinary actors
- Targeted meetings
- Exhibition

- Attend the event
- Enhance your skills and become a partner
- Enjoy targeted meetings according to your needs

Which e-health success stories worldwide?
How much is telemedicine efficient, according to evaluating countries?
E-health between developing and developed countries
Which legislation and regulation are adopted?
Which methodology to support e-health projects?
New tools and services for e-health: which contributions to economic development in investing nations?
which international cooperations are already supported by telemedicine?

Paris
October
16 & 17th,
2014

Save the dates !

Catel
VERS DES TECHNOLOGIES QUI NOUS RAPPROCHENT

Website 2013 edition: www.carrefourtelesante.fr
contact@catel.pro / +33 (0)2 97 68 14 03

ISfTeH
International Society for Telemedicine & e-Health

Contact : CATEL - Tel : +33.(0)2.97.68.14.03 / Fax : +33.(0)2.97.68.29.56 / catel@telemedecine.org / www.catel.pro

厚生労働省は安倍総理大臣のラオス訪問時に、 保健・医療分野での協力に関する覚書に署名



厚生労働省は安倍総理大臣のラオス訪問時に、保健・医療分野での協力に関する覚書に署名

2013年11月17日(日)、ラオス・ビエンチャンにおいて、厚生労働省は、安倍総理とトンシン・タンマヴォン・ラオス首相の立ち会いのもと、「日本国厚生労働省とラオス人民民主共和国保健省との医療分野に関する覚書」の署名を行いました。

具体的には、

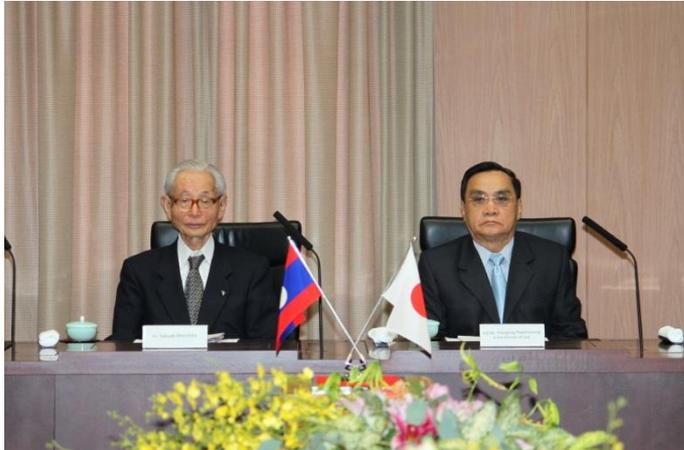
- (1)医師・看護師・保健師等の人材開発、
- (2)日本の公的医療保険制度に係る経験の共有、
- (3)医療サービスのケアの質の向上のための専門知識の交換、
- (4)病院・保健所管理のノウハウの移転、
- (5)遠隔医療や電子カルテ

といった日本の経験や技術の紹介 といった分野において、相互に協力を行うことを確認しました。

厚生労働省では、これまで諸外国との医療分野の協力覚書は前例がなかったものですが、今回の**安倍総理大臣のラオス訪問時の署名**は、アジアではカンボジアに続くものです。本年12月の日・ASEAN特別首脳会議に向けて、ASEAN全体への医療協力に貢献してまいります。(医政局総務課医療国際展開戦略室)

【参考】ラオス首相の香川県訪問の様相

- 昨年12月の日ASEAN特別首脳会議で訪日したラオス人民民主共和国のトンシン首相が、香川県を訪問し我が国の妊産婦向け遠隔医療システムを視察。
 - ・日時：2013年12月16日（月）9：05～9：35
 - ・場所：香川県医師会館



(左:森下 香川県医師会会長、右:トンシン ラオス首相)



(日ラオス間をインターネットで結んだ医師間カンファレンスのデモ)



(香川県と岩手県をインターネットで結んだデモを実施①)



(香川県と岩手県をインターネットで結んだデモを実施②)

ラオスにおける妊産婦の健康管理プロジェクト①

○ラオスにおける現状

- 1) ASEAN諸国内で最も高い妊産婦死亡率
- ラオス 470人/10万人 (ASEAN10か国平均 約140人/10万人)
- 2) 妊産婦の把握、健康管理が課題
- 妊婦の60%程度が専門家(助産婦等)不在の自宅で出産(保健省推計)
- 医療機関で受診しない(経済的理由、必要性の認識(慣習)の欠如)
- 産婦人科医の不足(特に地方)

○プロジェクトの目標

2015年までに、妊産婦死亡率を185人/10万人へ縮減(国連ミレニアム開発目標(MDGs))

ステップ1

医療分野に適するウェブビデオ会議システムの安定的運用の課題洗い出し(2008年~2011年: APT(約2,500万円))

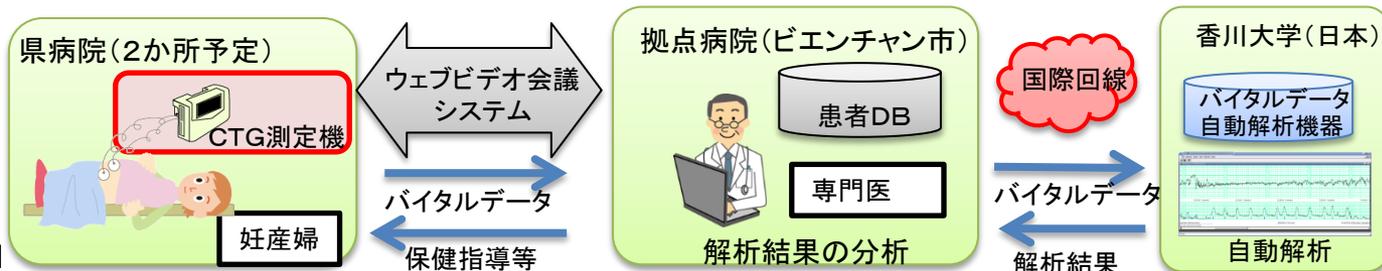
拠点病院(首都ビエンチャン市)と県病院を情報通信ネットワークでつなぎ、システムの実運用(ネットワークの接続実験、利用者への研修)。



ステップ2

- CTG測定機によるデータ把握及び運用
- 国際回線との接続
- バイタルデータの自動更新(2013年度: 総務省)

- 1) 県病院及び拠点病院間で県病院から送信されるバイタルデータ(胎児心拍数や子宮収縮状況)に基づく専門医のアドバイス提供
- 2) 拠点病院と日本(香川大学医学部)との間を国際回線で結び、香川大学の有するバイタルデータ自動解析機器を使って、その解析結果を病院に送信することを可能にする。

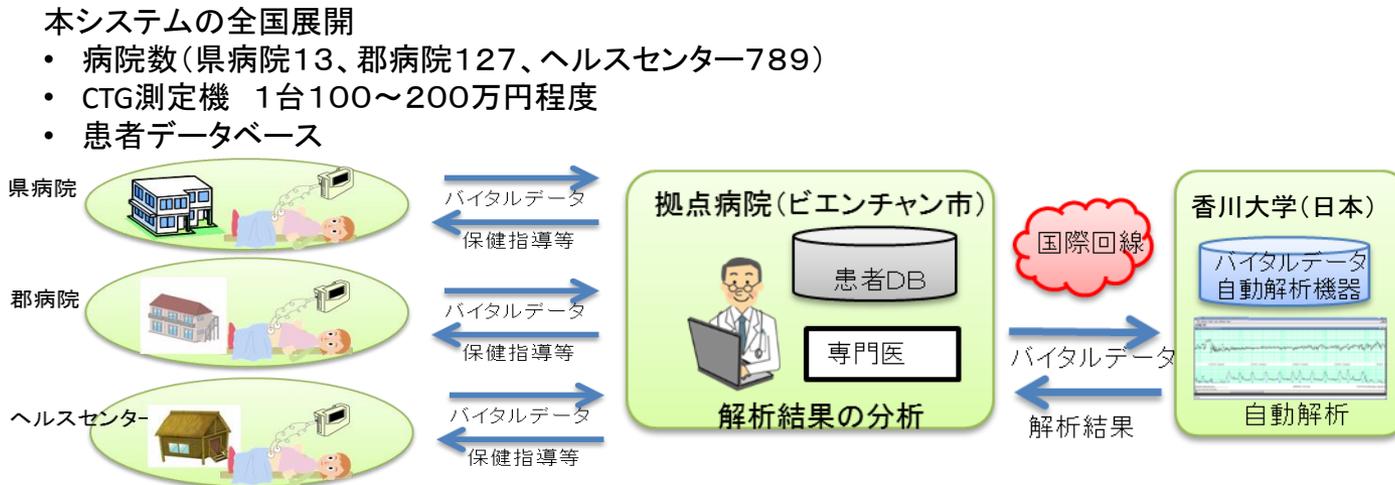


(※)CTG:胎児心拍陣痛図

ラオスにおける妊産婦の健康管理プロジェクト②

ステップ3

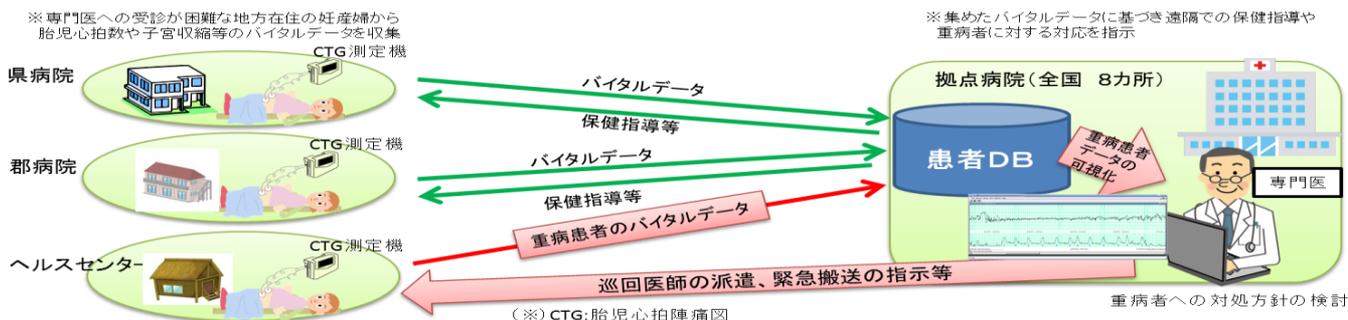
- 病院間のネットワーク運用
- 利用者の同時アクセス時の安定運用



ステップ4

ラオス政府による自律的なプロジェクト管理・運用

- システム運用支援の専門家派遣
- 専門医を含む医療従事者への研修(含: 専門家派遣)



目標達成 「妊産婦死亡率 185人/10万人」

付随的効果

- ① 妊産婦及び出生児の把握により国民登録(戸籍)制度の整備
- ② 乳幼児へのワクチン接種等の効率化
- ③ 他の健康管理システムへの展開